

第13期 株主通信

〔 2010年4月 1日から
2011年3月31日まで 〕



フューチャーベンチャーキャピタル株式会社



平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。また、このたびの東日本大震災で被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げます。

さて、ここに当社第13期(2010年4月1日から2011年3月31日)決算、並びに事業の概要についてご報告いたします。

当期における日本経済は、企業収益の改善の一方で、歴史的な円高基調に見舞われ、さらには東日本大震災の発生と、先行き不透明な状況が続きました。ベンチャーキャピタル業界におきましても、当期中の新規上場企業数が23社(前年同期19社)に止まるなど、収益機会が限定された予断を許さぬ環境が続いております。

このような環境の中、当社では経費水準の抑制に取り組むとともに、提携事業の結実により収益力の改善を目指してまいりましたが、新たな投資損失引当金の計上等により、5期連続して当期純損失を計上する結果となりました。

一方で新規上場市場を含む当社を取り巻く環境、ひいては当社の業績も、最悪期は脱したものと考え、今般、上場して10年の節目を迎えるにあたり、若手に経営を任せて自由闊達な新体制で進んでいくことといたしました。

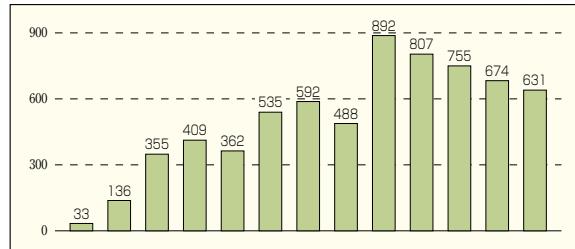
今後は新社長の今庄を中心に全社一丸となって、当社事業の発展と企業価値の向上に向け、尽力してまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2011年6月
 ファウンダー 川分 陽二

※当社では連結での決算を行っておりますが、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に子会社及び投資事業組合の、当社持分のみを連結した財務数値を記載しております。

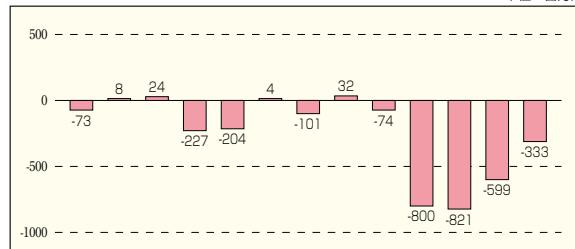
①売上高

単位：百万円



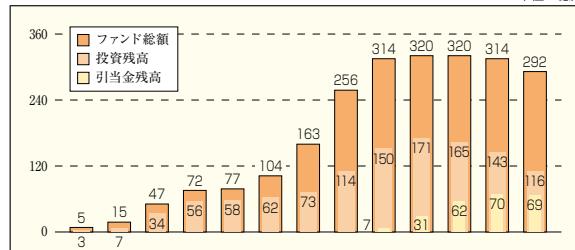
②当期純損益

単位：百万円



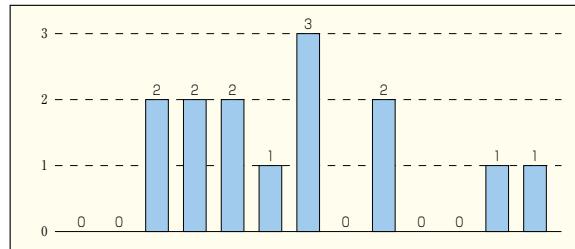
③引当金残高／投資残高／ファンド総額

単位：億円



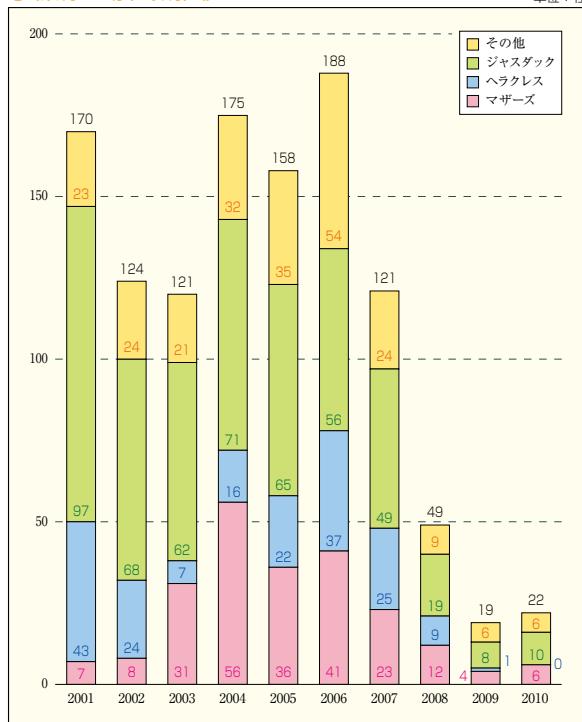
④IPO実績

単位：社



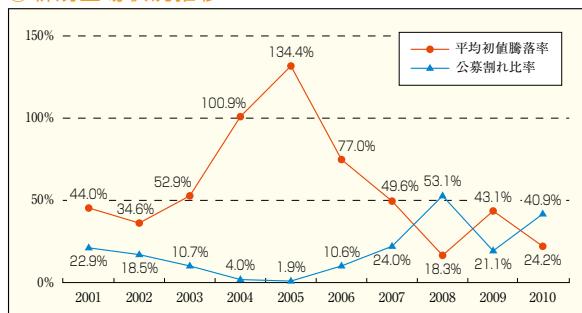
⑤ 新規上場社数推移

単位：社



※ヘラクレスは2010年10月12日よりジャスダックに統合されました。

⑥ 新規上場状況推移



(株)ピーエスシーが上場しました

2005年に「えひめベンチャーファンド2004」から投資した(株)ピーエスシーが、JASDAQに上場しました。2011年3月23日に市場で付けた初値は1,020円で、投資株価との倍率は20.4倍でした。

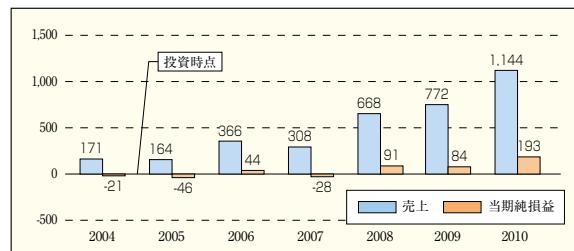
同社は電子カルテや医療用データマネジメントシステム等、医療システムに特化したソフトウェア製品を開発、販売する、愛媛県松山市に本社を置く企業です。

同社に投資していた民間ベンチャーキャピタルは当社のみであり、地方密着で活動してきた成果の1つと言えます。



⑦ (株)ピーエスシーの業績推移

単位：百万円



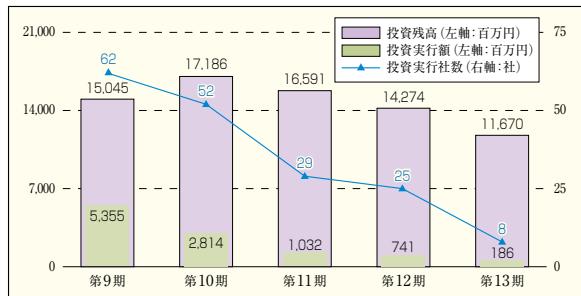
インキュベーションルームの運営を開始します

2011年7月、(株)長谷本社と共同で、インキュベーション型シェアオフィス「share KARASUMA」を京都・四条烏丸にオープンします。

当社は施設の運営企画やオペレーションを担うとともに、入居者へのコンサルティング等を通じて地域企業の支援を行ってまいります。

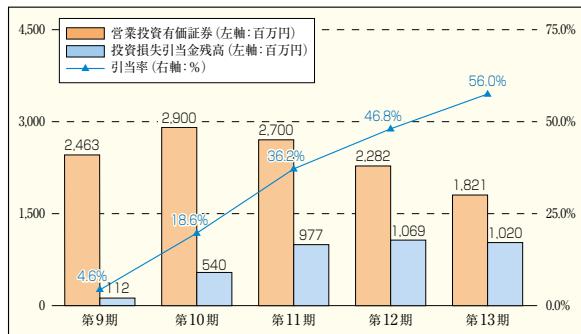
大企業を中心に企業収益の回復傾向が見られますものの、中小ベンチャー企業にとっては厳しい経営環境が続いております。そのため新規の投資機会においては、従前に比して採算のハードルが高くなり、結果として投資実行額が減少しております。

⑧ 投資残高及び投資実行の状況



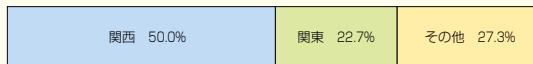
上記のとおり新規投資が減少したことに加え、営業投資有価証券の売却活動を推進したことにより、営業投資有価証券残高は純減となりました。一方、投資損失引当金は、新規繰入もあったものの、売却や減損による戻入が上回ったため、残高が減少しました。これらの結果として、営業投資有価証券残高に対する引当率は過去最高の水準に上昇しました。

⑨ 営業投資有価証券及び投資損失引当金残高の推移



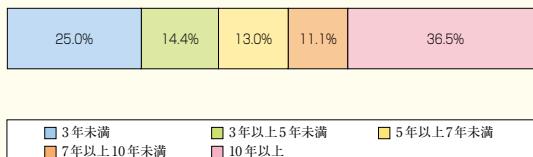
⑩ 地域別

関西を中心に幅広い地域の企業に投資しています



⑪ 設立年別

設立7年未満の企業が半数を超えています



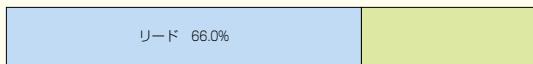
⑫ 業種別

特定業種に偏らず投資しています



⑬ リード比率

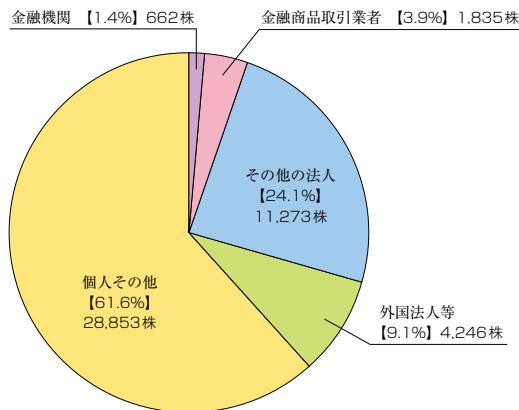
27社に非常勤役員を派遣しています



株式データ

- 発行可能株式総数 180,000株
- 発行済株式の総数 46,869株
- 株主数 1,477人

所有者別株式分布表



大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
1 川分 陽二	2,865株	6.1%
2 Total Network Holdings Limited (常任代理人 栗林総合法律事務所)	2,691株	5.7%
3 古川 令治	2,570株	5.5%
5 関西サービス株式会社	1,800株	3.8%
6 藍澤證券株式会社	1,620株	3.5%
4 賀川 正宣	1,520株	3.2%
7 JCW株式会社	1,477株	3.2%
8 坂本 友群	1,390株	3.0%
9 藤原 洋	1,300株	2.8%
10 有限会社ヤマカワ	1,250株	2.7%

注) 1. 出資比率は自己株式を控除して小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
2. 当社は、2011年3月31日現在、自己株式を12株保有しております。

会社の概要 (2011年3月31日現在)

- 商号 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
- 設立 1998年9月11日
- 資本金 19億8,450万円
- 従業員数 33名
- 本社 〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル8階
- 管理本部 TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
- 営業推進本部 TEL:075-257-6656 FAX:075-211-6965



- 東京支店 〒101-0021
東京都千代田区外神田六丁目14番9号
秋葉原MF28号館9階
TEL:03-5848-6310 FAX:03-3831-3536
- 事務所 青森事務所 岩手事務所 山形事務所
金沢事務所 三重事務所 堺事務所
神戸事務所 愛媛事務所

役員 (2011年6月23日現在)

代表取締役社長	今庄 啓二	取締役	鈴木 智久
取締役	小川 淳	取締役	松本 直人
常勤監査役	岩坪 安浩	監査役	岡部 陽二
監査役	小川 忠久		



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL:0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

〒604-8152 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル
手洗水町659番地 烏丸中央ビル8階
TEL:075-257-2511 FAX:075-211-1601
<http://www.fvc.co.jp/>